

よいことの
ために
手を取りあおう

Rotary

クラブテーマ

「来て見て知って ～つながるロータリー～」

国際ロータリー第2750地区 多摩中グループ
東京武蔵国分寺ロータリークラブ

週報

2025.7.28

第1363回例会 報告



司会：
内田 次郎 SAA委員長

【開会点鐘】 村谷 晃司 会長



【国歌・ロータリーソング】
「四つのテスト」
ソングリーダー 国場 みの 会員

【会長の時間】 村谷 晃司 会長



暑い毎日が続いていますが多くの会員の皆様にお会いできうれしく思います。先日は幹事と縄会員にもお会いしてきてまして、元気潑刺なご様子でいろいろとお話いただきました。

また本日は、先ほどご紹介させていただきましたガバナー補佐河村様、グループ幹事清水様、そして長谷部様にも来訪いただきありがとうございます。

来週は、場所を移して、立川のホテルエミシア東京にてガバナー公式訪問が予定されております。会長、幹事、会長エレクトが出席する懇談会も予定されておりますが、会員の皆様には早めに昼食をお取りいただくスケジュールとなっております。来週に向けて、よい準備ができればと思います。

さて、本日来訪いただきました長谷川様は、本年度の地区補助金を利用した「みんなの居場所プロジェクト」で支援させていただく「みんなの居場所づくり連絡会」よりお越しいただきました。スマートフォンの検索サイトで「国分寺」「居場所」と検索すると、例えば「居場所マップ」や「子供の居場所—国分寺」というページが出てきます。国分寺市内には、様々な「居場所」づくり活動がありますが、これらの活動をより広く知ってもらい、また、「居場所」を利用したい方々や、これらの活動を支援したいと考える方々への情報発信ができるWebサイトを開設し、「居場所」に関わる方々が「つながる」ことができるよう活動していきます。会員の皆様にも連絡会の活動に参加いただいたり、情報発信を担っていただいたりと思いますのでよろしくお願いいたします。

本日のプログラムである全体協議会では、毎年利用している地区補助金にかかわるロータリー財団委員会、奉仕プロジェクト委員会の活動予定などについてお話しいた

だきます。今後も、クラブの活動についてより深く知っていただく機会を予定しています。会員の皆様に「来て見て知って」いただき、さらにクラブ外の方にも当クラブの活動を知っていただき、会員の増強にもつなげていきたいと思います。

最後に、本日は国分寺市医師会からのお知らせが配布されておりますが、当クラブの高木会員が本年度は監事を務められるとのこと案内がクラブに届いておりました。それぞれの会員の皆様がいろいろな活動をされています。様々なつながりを大切にして、楽しいロータリークラブとしての活動ができますようお願いし、会長の時間とさせていただきます。

【お客様挨拶】

国際ロータリー第2750地区多摩中グループ

ガバナー補佐

河村 勝久 様
東京立川こぶし R C



ロータリー歴は32年。2000年にクラブ幹事、2017年にクラブ会長を経験。地区の役員歴は約15年（ガバナー月信委員会、ロータリーの友地区代表委員、公共イメージ委員会、東京オリンピックパラリンピック支援委員会、地区幹事、地区会員委員長など）。

ガバナー補佐の役割は、地区とクラブの情報を繋ぐこと、そして多摩中グループ13クラブの親睦を図ること。多摩中グループは親睦が大事であり、まず知り合いを作ることから始めている。「多摩中グループ協議会」は親睦と情報交換の場である。

グループ幹事

清水 満明 様
東京立川こぶし R C



今後の主要な予定として、8月4日のガバナー公式訪問、来年2月7日の地区大会、そして来年2月17日の自クラブの40周年記念式典への参加を呼びかけた。

【お客様挨拶】

国分寺みんなの居場所づくり連絡会

事務局

長谷部 豊子 様



ロータリークラブからの補助金を活用して、連絡会のホームページを作成する予定。
ホームページの目的は、市民が市内の子ども食堂や居場所を簡単に検索できるようにし、支援やボランティアをしたい個人が参加しやすくすること。
ホームページの完成はまだ具体的ではないが、年内中に内容を詰め、来年には開示できるように進めたい。
子ども食堂は貧困家庭支援のイメージがあるが、それだけでなく、地域の大人も含めた交流の場、様々な問題を抱える家庭の支援も含む形を目指している。



【幹事報告】

山本 雄一 幹事

- 7月14日（月）第1362回例会
- 7月14日（月）第1回クラブ会長幹事会
- 7月14日（月）プログラム委員会新旧引継ぎ会
- 7月15日（火）親睦活動炉辺委員会
- 7月16日（水）第1回米山記念奨学セミナー
- 7月17日（木）地区大会実行委員会第一回全体委員会
- 7月21日（月）祝日休会（海の日）
- 7月22日（火）補助金実務者講習会
- 7月23日（水）2024-25年度三枝幹事慰労会
- 7月24日（木）第2回地区拡大役員会
- 7月28日（月）第2回理事会



【委員会報告】

★出席委員会／出席報告

韓 哲 委員長

会員数	44 名	免除	5 名
有効会員数	39 名		
出席者	29 名	メイクアップ済	2 名
出席者計	31 名	79.5%	（出席率）

前々回の修正 なし



【委員会報告】

親睦活動委員会

鍾水 美生 委員長

8月4日（月）に岡村祐一会員の歓迎会と7月・8月生まれの誕生会を開催。8月25日（月）18:00より納涼移動例会を八王子の「うかい鳥山」で開催。京王線高尾山口駅より送迎バスあり（16:40、17:00、17:20発）。会費は8月4日のガバナー公式訪問時に集金予定。



【委員会報告】

MKR会

浅川 直行 会員

今年度より浅川会員が会長、興水会員が幹事を務める。
次回、第51回MKR会は11月5日に開催予定。



【ニコニコボックス】

親睦活動委員会

梶 将樹 委員

○村谷 晃司 会長 ・ 山本 雄一 幹事

皆様お疲れ様です。毎日暑いですが、お体ご自愛ください。本日は河村ガバナー補佐、清水グループ幹事の表敬訪問です。よろしくお願いします。そして、みんなの居場所づくり連絡会長、長谷部様よろしくお願いします。

○縄 康雄 会員

2024-25年度の鍋木会長、三枝幹事へ。先日はお二人でお見舞いに来てくれてありがとう。2人で力合わせてよく頑張った。お礼にニコニコします。

○鈴木 義明 会員

河村ガバナー補佐、本日はお忙しい中お越しいただきありがとうございます。1年間の指導よろしくお願ひいたします。

○三枝 正 会員

先日は幹事慰労会開催ありがとうございました。縄会員からのシャンパンの差し入れ、慰労会後椿会員のお店でボトル会計いただき、感謝感謝でニコニコします。あと、先日全日本カジ釣り大会でチャーター船部門で優勝しました。

○プログラム委員会

先日の新旧プログラム委員会懇親会のお釣りをニコニコします。

○バスト幹事会

7月23日に国分寺梅の花にて2024年-25年度三枝幹事の慰労会が盛大に開催されました。欠席者からのご寄付もあり、予算オーバーしましたのでニコニコします。

★ニコニコ大賞 三枝 正 会員



【クラブ協議会】

会長・委員長 年間方針語る Part-3

～今年度のクラブ奉仕事業について知ってつなげよう～

①ロータリー財団委員会



三枝 幸夫

中村 健

委員長

副委員長

財団の歴史：1917年に26ドル50セントの寄付で開始。現在では総額40億ドル(約6000億円)以上を運用。
 財団の使命：「世界で良いことをする」。公式には健康状態改善、教育提供、環境保護、貧困撲滅を通じて、世界の理解、親善、平和を達成すること。
 7つの重点分野：1. 平和構築と紛争予防、2. 疾病予防と治療、3. 水と衛生、4. 母子の健康、5. 基本的教育と識字率向上、6. 地域社会の経済発展、7. 環境保護。
 活動の特徴：寄付だけでなく、世界中のロータリアンが現場で汗をかいて奉仕活動を実践する。
 大きな成果：ポリオ撲滅運動。1988年の30万人以上の発症者を30年かけて99.9%以上減少させた。これは2750地区の田中ガバナーの最重要項目でもある。
 財務と評価：過去5年間の高級基金の年率運用成績は12%以上。米国の独立評価機関チャリティナビゲーターから11年連続で最高評価の四つ星を獲得。
 クラブの活動：今期は地区補助金を活用し「みんなの居場所プロジェクト」を実施する。地区全体ではグローバル補助金の申請が少なく、予算に余裕があるため、グローバルな活動の強化が課題。クラブの寄付目標は、年次基金として一人150ドル以上である。この「以上」の部分達成するため、各家庭に眠る不用品（ジュエリー、着物、ブランド品等）をオークションで現金化し、クラブからの寄付金に充てるといった新しいアイデアが提案された。
 クラブ目標：年次基金として一人150ドル以上。これは2750地区の目標と同じ。目標値は150ドルちょうどではなく、「150ドル以上」である点が強調された。
 財団委員会として、不用品を現金化する資金調達プロジェクトを11月までに具体化し、会員に協力を依頼する予定。また、9月にはロータリー財団に関する説明会を実施する。
 - 不用品を集めて現金化し、意義ある活動に資金を回す計画がある。
 - 11月が財団月間なので、それまでに詳細を詰めて具体的にどうするかをはっきりさせる。
 - 集める品物として、ジュエリー、バッグ、着物関係などが軽くてお金になりやすいと参考に挙げられている。
 - 9月にロータリー財団について、より詳しく分かりやすい説明をする時間を設ける予定。

② 奉仕プロジェクト委員会



小美野 和典 委員長
 榎 将樹 副委員長

本年度はクラブテーマに沿い、会員の積極的な活動参加を促すことを最重要課題とする。そのために、年間の活動スケジュールを明確に提示し、各種プロジェクト（みんなの居場所、国分寺祭り、少年野球、すだちプロジェクト等）への理解と協力を求めていく。

- 委員長は小見野氏、副委員長は榎氏。他に広瀬氏、白木氏、藤原氏の3名の委員がいる。
- クラブテーマ「来てみて知ってつながるロータリー」に沿った活動を目指す。
- 主な事業は例年通りだが、新たに地区補助金を使った「みんなの居場所プロジェクト」の支援が加わる。
- 会員の活動への参加を促すため、年間のスケジュールをカレンダーのような形で見やすくする計画。
- 「みんなの居場所プロジェクト」では、年内にホームページを完成させ、年明けから運用を開始する予定。
- 11月2日には国分寺祭りがあり、その売上を社会福祉協議会やすだちプロジェクトへ寄付する。
- 11月29日には少年野球大会の決勝戦の準備を行う。
- 2月か3月には「すだちプロジェクト」の卒園式があり、事前に案内して参加と物品寄贈を促す。
- 具体的な計画は、明日（2025年7月29日）の委員会でさらに深掘りする予定。

【講評】



国際ロータリー第2750地区多摩中グループ
 ガバナー補佐 河村 勝久 様

- 各委員会の熱心な発表を評価し、クラブ間の交流を深めるための新たな企画（親睦委員長、奉仕プログラム委員長の発表会）や、新会員の定着を目的とした企画（ロータリーソング合唱祭）を提案した。また、地区補助金を効果的に活用するための実践的なアドバイスも提供した。
- 年度初めのクラブ協議会は、意見交換よりも委員長の計画発表が多くなる傾向があるが、その熱意が伝わってきて新鮮である。
 - 9月のグループ協議会で、13クラブの親睦委員長に発表の機会を設ける企画がある。
 - 来年の2月か3月に、同様に奉仕プロジェクト委員長が発表する会を企画している。
 - 来年の4月に、新会員がロータリーソングを学び、クラブとの絆を深めるための「新会員さん歓迎会」という名のロータリーソング合唱祭を計画している。参加費は無料。
 - 地区補助金は一度きりが原則だが、名前を変えるなどして2、3回受けることも可能。ただし、申請が早いクラブが優先され、遅れると減額される制度がある。

【謝辞】

村谷 晃司 会長

【閉会点鐘】

村谷 晃司 会長

東京武蔵国分寺ロータリークラブ

会長：村谷 晃司 幹事：山本 雄一

公共イメージ・会報委員会 委員長：田中 孝和 副委員長：浅川 直行 委員：輿水 香 委員：保坂 光彦

例会場 国分寺市本町3-11-12 多摩信用金庫 国分寺支店3階

事務局 国分寺市南町3-20-3 国分寺ターミナルビル9F